

## はじまり

1994年の春に私はテキサス州のNASA JSC へ出発した。

まだ正式に入る許可が降りる前である。その頃私は日本でも珍しい遠心機を利用した人工重力装置を使って人体のデータを取っていた。その頃に NASA JSC 心循環系研究室では同様の実験を始めるにあたり是非その実験に参加してほしいと NASA JSC CVlab.よりお誘いの手紙を受け取った。今でももし人が月や火星に行くならば地球上で生まれ育った、人類にとって重力は重要な要素で有ると感じている。宇宙服の重要性はわかるが基本の重力は未だにおきざりにされている重要な問題であった。当初は宇宙船や ISS に人工重力装置を乗せてと思ったが自身の回転が無重力に浮かんだ施設に与える影響は大きなものだった。そこで目をつけたのが月面の上にその装置を設置することで有る。 どれほどが研究が進んでいるのかを把握するために NASA までやってきたのである。その後お約束の紆余曲折があり多くのことを学んで帰ってこられた。当時はまだスペースシャトル黄金期で1.5か月から2ヶ月に一回飛んでいた。最終的にその飛行ミッションに参加できたことは私の大きな誇りでもある。